

東アジア文化都市の到達点と 今後の課題

日時 2021 2/22 月 13:30~16:30 (開場 13:00)

場所 同志社大学
今出川キャンパス
良心館 RY105 教室

お申し込み方法

参加無料

事前申込制 会場(先着50名) / オンライン
締切: 2021年2月18日(木)

お申し込みは下記 URL よりご確認ください
URL: <https://forms.gle/QdpaWj7UQMDfUkkB6>
※定員になり次第締め切らせていただきます



QRコードは
こちらから

「東アジア文化都市」事業は、2011年日本・中国・韓国の文化大臣会合において日本側からの提案に基づき、2014年から毎年開催されてきた国際文化事業であり、①東アジア域内の相互理解と連帯感の形成の促進、②東アジアの多様な文化の国際発信力の強化、③文化芸術・創造経済・観光の振興による都市の持続的発展を目的として、横浜市、新潟市、奈良市、京都市、金沢市、豊島区(東京都)、北九州市の7都市が取り組みを展開してきました。

その取り組みの意義と成果を確認し、今後の飛躍的発展を探求するために開始された文化庁・同志社大学共同研究プロジェクト「東アジア文化都市に係る成果と今後の在り方に関する調査研究」のまとめに向けて、本シンポジウムを開催することになりました。

東アジア文化都市事業に関心を持ち、また、各地で創造都市政策を推進する政策担当者、国際芸術祭やアートプロジェクトを推進する芸術家、文化活動に関心のある市民の皆さんに参加を呼びかけます。

SCHEDULE

◇開会挨拶

八木 匡 (同志社大学経済学部教授)

<第一部>

◇記念講演

「東アジア文化都市の意義と展望」

近藤誠一 (元文化庁長官、近藤文化・外交研究所代表)

◇基調講演

「東アジア文化都市の到達点と今後の課題」

佐々木雅幸 (文化庁文化創造アナリスト、金沢星稜大学特任教授)

<第二部>

◇取組発表

横浜市、新潟市、奈良市、京都市、金沢市、豊島区(東京都)、北九州市

◇コーディネーター

太下義之 (同志社大学経済学部教授)

◇閉会挨拶

鈴木律子 (文化庁文化経済・国際課 国際文化交流室長)

▶ お問い合わせ先

同志社大学 創造経済研究センター事務局

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL: 075-251-3728 FAX: 075-251-3727
E-mail: rc-csce@mail.doshisha.ac.jp

主催: 文化庁/同志社大学

共催: 同志社大学創造経済研究センター/同志社大学ライフリスク研究センター

後援: 京都府/京都市

東アジア文化都市の到達点と今後の課題

PROFILE

近藤 誠一



元文化庁長官、近藤文化・外交研究所代表

東京大学卒業。1972年外務省入省。ユネスコ大使、駐デンマーク大使を経て、文化庁長官。退官後は外務省参与。東京大学、慶応義塾大学、同志社大学等で教鞭をとる。文化と外交を中心に、講演活動や自治体の財団運営を行う。2019年4月より国際ファッション専門職大学学長。

佐々木 雅幸



文化庁文化創造アナリスト
金沢星稜大学特任教授

金沢大学経済学部、立命館大学政策科学部、大阪市立大学大学院創造都市研究科で教授を経て、2014年4月から2019年3月までは同志社大学特別客員教授、文化庁文化芸術創造都市振興室長として文化庁の京都移転に尽力した。創造都市ネットワーク日本の顧問として、国内の様々な創造都市の取組を支援。主な著書に『創造都市の経済学』、『創造都市への挑戦』、『創造社会の都市と農村』など。

太下 義之



同志社大学経済学部教授

国際日本文化研究センター客員教授、独立行政法人国立美術館理事。文化経済学会<日本>理事、文化政策学会理事、政策分析ネットワーク共同副代表。文化庁文化政策部会食文化ワーキンググループ座長、日本博アドバイザー、観光庁「世界に誇れる広域観光周遊ルート検討委員会」委員、2025年万博アカデミック・アンバサダー、豊島区「東アジア文化都市2019実行委員会」委員。著書：『アーツカウンシル』（水曜社）。

八木 匡



同志社大学経済学部教授

京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経た後、現在同志社大学経済学部教授、日本経済学会理事（2002年～2007年）、文化経済学会<日本>会長（2018年～2020年）
主著：European Economic Review 等海外学術雑誌等に論文を多数掲載。『教育と格差』、『スポーツの経済と政策』、『スポーツの組織文化と産業』、『The Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality』等の著書を執筆。

